

自らつくる時間割

2 年次以降、興味・関心将来への進路希望等に必要な科目を選択し、一人一人が自らの時間割を作成します。

(1) 2・3年次に学習する科目について

2・3年次に学習する科目は、必修科目と選択科目に分けることができます。
2年次の必修科目は「公共」「体育」「保健」「英語コミュニケーションⅡ」「情報探究」の計4科目と羅針（総合的な探究の時間）の合計12単位です。

【2年次教育課程表】																															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	必修																					
科目名	選択																		公 共	情 報 探 究	英 語 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン Ⅱ	保 健	体 育	羅 針	H R						
	※ 2・3年次のどちらかで、「物理基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目または「科学と人間生活」1科目を選択 ※ 2・3年次のどちらかで、「地理総合」を必ず1つ選択																														

3年次の必修科目は、「体育」と「羅針」の合計4単位です。

【3年次教育課程表】 ※「羅針」は、前期集中履修（1単位）																															
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	必修																
科目名	選択																												羅 針	H R	
	※ 2・3年次のどちらかで、「物理基礎」「生物基礎」「地学基礎」から2科目または「科学と人間生活」1科目を選択 ※ 2・3年次のどちらかで、「地理総合」を必ず1つ選択 ※ 「3年次体育」を必ず一つを選択																														

(2) 理科の必修科目の選択について

必修科目として、次の①または②のどちらかを必ず選択しなければなりません。

- ① 2年次または3年次に、物理基礎（2単位）・生物基礎（2単位）・地学基礎（2単位）の3科目の中から2科目を選択します。
- ② 2年次または3年次に、科学と人間生活（2単位）を選択します。

※理系の進路を考えている人には、進路希望の分野にもよりますが、①の選択をして、2年次での履修をお勧めします。

(3) 必修科目の地理総合の選択について

2年次または3年次のユニット表から必ず1つ選択してください。

(4) 3年次の必修科目の体育について

3年次ユニット表から必ず1つ選択してください。

(5) 総合選択科目

本校ではおおよそ100科目の選択科目が用意されているため、科目の名称だけでは教科の内容が分りづらくなってしまいます。そこで、各科目を教科の特性から8つに分類しています。この分類したグループを系列といいます。系列は学科やコースのようにそこに所属するものではなく、あくまでも科目選択の参考ですから、系列の枠を越えて科目を選択することができます。

【本校の8つの系列には、次のような目標や学習内容があります】

① 国際人文系列

さまざまな文化について、言語・歴史などの学習をとおして理解を深め、さらなる興味・関心を引き出します。また、国際化が進展する中で異文化を認めながら社会の抱える課題を考える力を高めます。

② 自然科学系列

理科や数学に関する基礎的・基本的な内容を確実に身につけ、科学的なものの見方や考え方ができるように学習します。また、実験や観察・調査などの体験的な学習を重視し、思考力・表現力を育てます。

③ 生活・福祉系列

生活や福祉に関する基礎的・基本的な知識と技術を総合的に学びます。見学や実習などを通して体験的に学習しながら豊かな人間性・豊かな福祉観を養い、「より良い生活とは何か」「社会福祉とは何か」を考えていきます。

④ 体育・健康系列

私たちの健康とスポーツとの関連性を、実技や理論を通して学びます。そして、さまざまなスポーツの専門的な知識や技能を身につけ、生涯にわたって健康でスポーツに親しむことができる能力や態度を育てます。

⑤ 芸術系列

音楽・美術・書道の各科目がさまざまな内容で幅広く置かれています。それぞれの学習を通して創造的な表現力や鑑賞の能力を伸ばすとともに、豊かな感性と生涯にわたり芸術に親しむ心を育てます。

⑥ 情報系列

コンピュータなどの情報機器や通信システムに関する知識や技術を身につけ、情報化社会に対応できる力を養います。また、画像・音声など、マルチメディアによるさまざまな表現方法について学びます。

⑦ ビジネス系列

商業の各分野（マーケティング・マネジメント・会計・ビジネス情報）の学習を通して、ビジネスを理解し実践するための知識と技術を身につけ、進化していくビジネス活動に対応できる力を養います。

⑧ 工学系列

「ものづくり」に関するに必要な知識を学び、作り上げていく技術を学習します。私達の生活を、より快適で安全なものとするために、私たちの暮らす家や街のデザインと設計、生活を支えるさまざまな機械のなりたちや生産の可能性を追求する技術を学習します。